

- JA鳥取いなば国府支店果実部ブドウ部では**ハウス施設の老朽化**が問題となっていた。**果実部はH31年1月、若手生産者のために栽培施設整備を県に要望した。**
- 普及所等関係機関は要望調査、若手生産者の経営状況検討、補助事業の計画の検討、用地確認などの支援を行った。
- R2年団地等整備の事業計画を策定。産地は3haから4haに拡大予定。**
- 団地等の整備に伴い産地の在り方が変わってくるため、今後も産地の方向性を検討する。

具体的な成果

普及員の活動内容

- (1)実施に向けた事業計画の策定支援
 - ア 生産者の事業要望の取りまとめ及び実施可能な事業計画の策定支援
 - ・要望者・若手就農者は過大な要望を**現実的な計画(雨除けハウス等)に変更**された。
 - イ 地元と関係機関との連携体制の確立
 - ・**4種類の補助事業を活用すること、農協が国事業の事業実施主体となることで合意。**

- (1)実施に向けた事業計画の策定支援
 - ア 生産者の事業要望の取りまとめ及び実施可能な事業計画の策定支援
 - ・**事業説明会(4回開催)**で生産者毎に事業費・個人負担額を試算し提示。
 - ・**個別に面談**し、事業試算、経営実績を提示し、**実施可能な事業計画への変更を提案。**
 - イ 地元と関係機関との連携体制の確立
 - ・**実施可能な補助事業**を関係機関と検討
 - ・**農協に事業実施主体になるよう協議**
 - ・施設整備の中心となる**「雨除けハウス」の補助事業対象化支援**。生産者及び施工業者等と検討し「雨除けハウス」の仕様を作成
 - ウ 新植用農地の確保支援
 - 果実部長が見当を付けた候補地について
 - ・市等関係機関と生産者の連絡調整
 - ・**農地割当案**作成、農地割当検討会開催

表1 令和2年6月時点の生産者の要望

要望者	合計面積	単棟ハウス	雨除けハウス	その他	事業費(税込)
11名	142a	3.6a(1名)	110.2a(8名)	28.6a(2名)	5,818万円

- ・**「雨除けハウス」の仕様を県所管課に打診し、補助事業対象となった。**
- ウ 新植用農地の確保支援
 - ・検討会後の方針に基づき、R2春に**生産者・機構・地権者間の中間管理契約が締結。**



用地割当検討会

- (2)産地再生に向けての作型・品種毎の生産販売目標、販売戦略の策定支援
 - ア ブランド化への取組
 - ・ブランド名を**国府ぶどう「万葉のしずく」に決め、知事を表敬訪問した。**



今後の普及活動に向けて

- (1)令和2年度の団地整備支援(補助事業、用地、定植他)の継続
- (2)若手就農者の経営状況把握と技術指導の継続
- (3)作型・品種毎の生産販売目標、販売戦略策定、ブランド化支援(商標登録支援等)